

産廃計画の凍結を 求める住民請願

議会が否決

10月20日に行われた町長選挙で、杉原町長の得票は過半数を得られませんでした。「産廃焼却施設誘致計画」は住民合意を得たとは言えないのではないのでしょうか。

12月議会に住民から出された「凍結を求める請願書」に、共産党以外の議員は、「当選者が民意」「凍結したら大損害になる」と言って、住民に背を向けました。

産廃誘致は住民合意が必要

住民合意も無いのに産廃計画を進めておきながら、「凍結すれば多額の損害金が必要」と言うのは、もつてのほかではないでしょうか。

産廃誘致には、住民合意が必要です。日本共産党は今後、「住民投票」の実施を求め、その実現に力を尽くします。

「産廃計画」は中止を

日本共産党は、町長は町長選挙で過半数の得票を得られなかったことから、「町長の進める産廃焼却施設の誘致計画は住民合意を得たとは言えないではないか」と質問しました。町長は、「選挙結果で民意を得た」と答え、選挙に勝てば、不安や反対の住民の意見は聞かないと言う姿勢が明らかとなりました。

産廃建設計画の 基本協定は 解除できない!?

忠岡町と事業者の間で、ごみ処理における基本協定を結んでいます。協定とは締結する当事者どうしが合意をして交わす文書です。しかし、住民から不安な声がある中、町は事業を進めています。住民が反対の意思を示した場合、合意したとは言えず、解除すべきではないか、との質問に、「解除すれば、賠償責任や法的な争いに発展することが想定される」と答弁しました。

住民の合意を得たとは言えないのに、解除できないような協定書を締結していること自体、大問題です。



日本共産党
忠岡町議員団の
ホームページです

暮らしのご相談はお気軽に

河野たか子 (29) 0033
メール: pic1224@sensyu.ne.jp
にかもと英生 (21) 9092
メール: nikastyle19@sensyu.ne.jp
これえだ綾子 (21) 7802
メール: koreeda7@sensyu.ne.jp

9月議会も
きびしく追及

忠岡町の問題点

忠岡町は産廃を隠し、住民への説明責任を果たしていない

「公民連携協定書」に、契約解除の項目がない

住民の環境を守る環境部局としての行政が欠落している

9月4、5日、一般質問で日本共産党は、忠岡町が産廃焼却施設を誘致する計画を住民に説明せずに進めているため、行政の説明責任を求め厳しく追及。

忠岡町は「ホームページに掲載している」「住民説明会の予定はない」「公民連携協定を解除する状況を設けていない」「町独自の基準を設ける」と言うのみで、説明しない無責任な答弁でした。

忠岡町長選挙

明るい会推薦
これえだ綾子さん
善戦健闘!

産廃焼却施設の誘致計画を中止、町の貯め込み金 1.7 億円の活用を訴えに共感ひろがる

これえだ綾子(無所属)	2,167	36.4%
杉原キヨシ(維新)	2,939	49.3%
勝元由香子(無所属)	847	14.2%

忠岡民報

2025年 1月 第321号

発行：日本共産党忠岡町委員会

小中学校の体育館の雨漏り対策の工事費として、約二千万円計上されました。

来年度には体育館の空調設置工事が予定されており、漏電対策として必要な工事です。

体育館の空調工事及び雨漏り対策は、日本共産党議員団も、以前より要望したことが、ようやく実現します。

小中学校体育館の雨漏り対策工事

補正
予算

昨年10月から、粗大ごみの持ち込みが、本人の運転する車に限定されました。そのため、大変、困っている住民が出ています。近隣市ではここまで限定されていません。その声を受け、「本町も本人の運転以外でも受け入れることが必要ではないか」との質問に、忠岡町は「今後、検討する」と答弁しました。



河野たか子議員

持ち込み
粗大ごみの
受け入れを

公立のこども園に 病児保育の設置を

子どもが病気になった時、仕事で休めない事もあります。町内の民間園では、病児保育を実施しているが、公立のこども園にも病児保育の実施を求めましたが、「病児保育の必要性は理解しているが、現在は考えていない」との答弁でした。公的責任で設置に向けて検討すべきです。



学校給食
無償化を
いかもと英生議員

物価高騰で子育て世帯の負担も大きくなっています。給食費の無償化を求めると、「町単独での実施は難しい」との答弁でした。

また、無償化だけではなく、給食内容の充実のため、一部助成も求めました。

霊園使用料
全額返還しない
ことを検討中
忠岡町

これまで忠岡町では、霊園使用料は全額、返還されてきました。ところが、返還金を減額する見直しを検討していることが総務委員会の質疑で明らかとなりました。猶予期間は、1年程度。

日本共産党は、「全額返還が契約時の前提であるため、全額返金すべきだ」と求めました。

令和5年度決算に反対

9月議会

令和5年度決算では、町の財政が好転し、財政調整基金が17億円もあるのに住民サービスはカットしたまま、町独自の物価高騰対策ありません。一方で住民合意もないまま、民間主導の産廃焼却施設誘致計画を

進めています。

議員団は、学校給食費の無償化や高い国保料・介護保険料の引き下げを求めましたが、忠岡町は「しない」と住民要求に背を向ける態度。このような決算にキッパリ反対しました。

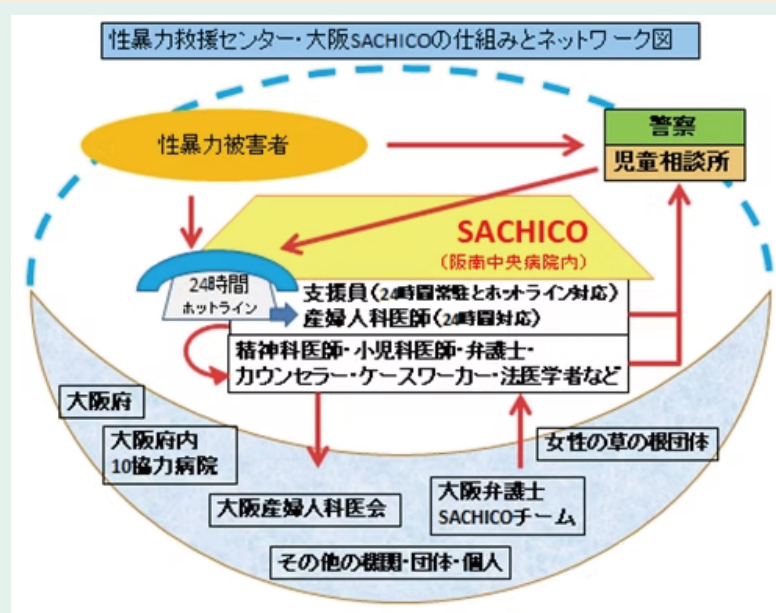
議員団の質問より

（問） ガス爆発の危険のある万博に、子どもたちの学校遠足は中止すべき。

（答） 学校長の判断になる

（問） 国保会計の基金 7000万円を活用すれば、一人 1万円の保険料引下げができる。

（答） 基金は取り崩さない



性暴力救援センター 大阪 SACHICO 存続と体制強化を 求める意見書

大阪府下の性暴力被害者の支援がワンストップで可能な大切な事業です。しかし補助金が少なく、一つの民間病院での対応が厳しい状況で、来年3月に現在の病院から撤退をせざるを得ない状況です。

日本共産党は、府の責任で活動拠点の確保をすること、公的病院を拠点とするワンストップ支援センターを設置することを求めた意見書を提出しました。

しかし、連携型で運営すべきなどの反対意見により、不採択となりました。

- 性暴力救援センター
大阪 SACHICO の役割
- ① 24 時間体制のホットライン
及び支援員常駐による心のケア
 - ② 産婦人科による診療
 - ③ 精神科医師による診療、カウンセリング
 - ④ 弁護士相談、警察への通報、児童相談所への通告
- 「病院拠点型」だから出来る総合的・包括的支援が可能

日本共産党が提案。
議会は否決